

卒業式に潜入せよ！

探偵団事務所のすきま風が気になる今日のごろ——

探偵君（以下、探）：お、新しい指令書だ。なにに、「京大の卒業式に潜入し、調査報告をらいふすてーじ2月号に掲載すべし」か。

先輩探偵（以下、先）：ほう、面白そうじゃないか、さっそく調査開始だ！

——数日後——

探：先輩！ 大変です！

先：お、調査が終わったのか。じゃあまず卒業式の歴史について教えてくれ。

探：えっと、京大（旧京都帝国大学）の第1期卒業式は1900年7月に行われ、当時の卒業生は29人しかいなかったそうです。ちなみに昨年度の卒業生は2708人でした。いや、そんなことより……

先：おお、そうだな、やっぱり記念品が気になるよな。

探：京大の卒業記念品は伝統的に紅白の落雁（和菓子的一种）だったのですが、昨年は京大の和歌山研究林の間伐材を使った「祝箸」でした。

先：はしだって？ なんてそんなものが？

探：祝箸っていうのは祝事のときに使う特別な箸のことですよ。間伐材を使ったのも、木と森の問題について考えてほしいとの総長の願いからだそうです。

先：ふむ、なるほどな。

探：……っと、それはともかく、大変なんですよ！ 今年の卒業式は3月25日です！ 2月号に間に合わないじゃないですか！

先：ふっふっふ……。

探：先輩、どうしたんですか？

先：実はこんなこともあるかと去年卒業式に潜入していたのだ。

探：なんてご都合主義……。



先：そうだな、あれは去年の3月のことだ。私は卒業生のふりをして総合体育館に忍び込んだ。

探：……おいおい。

先：京大の卒業式だというのに、席がほとんど埋まってるんだ。スーツの人も多かったけど、和服やら何やらを着てる人もけっこういたな。

探：へえ。式はどんな感じでしたか？

先：そうだな、たしか最初に学歌を歌ったぞ。そして総長から各学部の代表に学位記が授与されるんだ。

先：で、総長の式辞があって、例によって蛍の光を歌って……。

探：え？ 終わりですか？

先：そうだな、意外とあっさり終わったぞ。どこの成人式みたいに荒れるんじゃないかと期待していたんだが。

探：まったく、この人は……。



探：あ、ところで先輩、今年で卒業じゃないんですか？

先：な、何を言ってるんだ？ 私は生涯現役だぞ？ はっはっは……。

探：……。

はみだし
すてーじ

これ考えてたら、メ切り前の漫画家の気持ちができる。
⇒これ書いてたら、メ切り前の小説家の気持ちができる。

(工・1 会長)
(文章が出てこない！！；編)